

# みやぎ県議会だより

第387回宮城県議会（2月定例会）は2月14日から3月17日まで32日間の日程で開かれた。約1兆5681億円の令和5年度一般会計当初予算や、任期が満了する遠藤信哉副知事の後任に伊藤哲也保健福祉部長を起用する人事案件など88議案を可決・同意したほか、議員提案の5議案と意見書6件をそれぞれ可決した。一般質問では、仙台医療圏に立地する4病院の再編方針や新型コロナウイルス入稿で落ち込んだ地域経済の回復策、防災・減災分野などで活発な質疑が行われた。

## 4病院再編懸念解消を

### 知事、23年度合意へ決意

仙台赤十字病院（仙台市太白区）と県立がんセンター（名取市）を統合して名取市に、東北労災病院（青葉区）と県立精神医療センター（名取市）の運営主体をそれぞれ宮谷市にそれぞれを置き、4病院を再編する県の再編構想は、県民の懸念を解消するよう求める意見が相次いだ。

4病院の運営に携わる県と日本赤十字社、労働者健康安全機構の3者が2月に交わした今後の協議事項に関する確認書に、議員

は「議論の方向性はどうなるのか」とたずねた。知事は「具体的な病床規模、診療科、運営主体などを協議する。2023年度早期の合意を目指す」と強調した。「日本赤十字社と合意できなかつた場合、4病院再編の検討自体を白紙に戻すのか、他方の移転・合意を進めるのか」との議員の質問に対し、知事は「仮にどちらかの協議で合意できなかつたとしても、全体を白紙にすることは他方の協議を中止することは考えていない。実現できるような力を尽くす」と答弁した。

議員は「精神医療センターの患者は、移転後の通院に不安を抱えている」と指摘。知事は「宮谷市では、泉中央駅からのシャトルバスの運行を検討している」と説明したほか、名取市の新病院に精神科の外來機能を整備する方針も示した。

精神医療センターの移転構想に、議員は「名取市のある撤退も選択肢の一つだ」と迫った。知事は「再編構想は県の政策医療の課題解決に必要である」と答弁した。



2月定例会の本会議

### 議決した議案等

- #### 可決した発議 <5件>
- 宮城県議会委員会条例の一部を改正する条例
  - 宮城県議会会議規則の一部を改正する規則
  - 宮城県議会における政務活動費の交付に関する条例の一部を改正する条例
  - 宮城県議会議員の政治倫理の確立及び資産等の公開に関する条例の一部を改正する条例
  - 県議会議員の議員報酬等に関する条例の一部を改正する条例

- #### 可決した意見書 <6件>
- 子ども子育て支援の拡充を求める意見書
  - 「（仮称）手話言語法」の制定を求める意見書 他

#### 可決・同意した 知事提出議案 <88件>

- 令和5年度宮城県一般会計予算
- 令和4年度宮城県一般会計補正予算
- 企業版ふるさと納税基金条例
- 子ども・子育て会議条例の一部を改正する条例
- 家畜伝染病予防法施行条例の一部を改正する条例
- 県行政に係る基本的な計画の策定について（宮城県スポーツ推進計画）
- 再生可能エネルギー等の導入促進及び省エネルギーの促進に関する基本的な計画の変更について
- 教育委員会教育長の任命につき同意を求めることについて 他

※議案等に対する各議員の表決状況については、県議会ホームページに掲載しているほか、議会図書室で閲覧できます。

## 広域防災拠点 完成遅れ指摘

### 知事 32年度への延期説明

防災や減災関連の質疑では、県が仙台市宮城野区のJR仙台貨物ターミナル駅の敷地に計画する広域防災拠点について、議員は「移転する時期が延びる」と聞いて「いつまでか」と尋ねた。知事は「1年でも前倒してできるような努力をする」と答えた。

2026年度以降から32年度にずれ込む見込みであることを表明。移転予定地内で軟弱地盤対策が追加で必要になったことなどを理由に挙げ、「大変申し訳なく思っている」と述べ、説明した。

議員は「緊急輸送道路を含む幹線道路へのアクセスや、県内唯一の基幹災害病院に近接するなど、地理的優位性が圧倒的に高い」と宮城野区に整備を進める利点を挙げ、「以前から県に財政支援を求めた」と述べ、説明した。

## DX着実な推進要望

県が令和5年度一般会計当初予算で重点策に据えた「デジタルトランスフォーメーション（DX）の推進」を、着実に実行するよう求める意見が相次いだ。

議員は、昨年10月に日本総合研究所が実施した市町村のDXの進捗状況調査で、県が全国35位だったことに触れ、「順位についてどのような認識を持っているのか」と質問した。知事は「調査では町村の割合が高い」と答えた。

### 県が新年度予算で重点策

DX化が遅れている可能性が指摘されている。今後も市町村の意向を聞きながら、必要な支援を継続する」と説明した。

議員は「介護保険事業を活用したボランティアポイント制度や、健康ポイント付与の取り組みを市町村に周知すべきだ」と要望した。保健福祉部長は「実施している一部の市町村も、2300人が登録し、60組以上の結婚につながっている成果を、地域の美情に応じた各種サービスの取り組みを支援する」と答弁した。

## 観光需要 V字回復期す

### 仙台空港利用促進「宮城オルレ」活用／ダムライトアップ

新型コロナウイルス禍で落ち込んだ地域経済の好転を狙った施策の質問が目立った。観光需要のV字回復を目指す。議員は「仙台空港の利用促進に向け、どのような取り組みを検討しているのか」と質問した。仙台空港発着の国内線を往復利用した若者を対象に、キャッシュバックする独自のキャンペーンについて、知事は「観光需要のV字回復を目指す」と答えた。

議員は「仙台空港の活用促進に向け、どのような取り組みを検討しているのか」と質問した。議員は「観光需要のV字回復を目指す」と答えた。

## 園芸産出額 倍増を提案

農業関連で、議員は「みやぎ食と農の県民条例基本計画（2021～30年度）の園芸産出額について、倍増に向けた取り組みを強化するべきだ」と強調した。

知事は、施設整備や人材育成に関する現行の支援を説明しながら「来年度は『みやぎ大規模施設園芸立地促進』を説明した。

## 質問者と主な質問項目

- 代表質問（3人）
  - △中山耕一（自民） 吉田川水系流域治水対策の総合的な取組、仙台医療圏における病院の再編、他「ゆさみおき」（県民の声） 今後の宮城の医療提供体制の在り方、社会で支える子ども子育て支援、他「福島県が子育て支援を推進する中、宮城県はどうか」（共産） 強引に進める4病院再編移転は撤回し、県民住宅集約廃止案撤回と建設計画（16人）
  - △佐々木賢司（自民） 精神医療センターの移転合意について、県立高校の移転について、他「境町春」（県民の声）
- 一般質問（16人）
  - △気仙沼市と南三陸町の諸課題について、本県経済について、他「八島利美」（自民）
  - △防災・減災、国土強靱化の推進について、持続可能な農業振興について、他「福井崇正」（自民）
  - △多様な人材の参入促進について、県の観光施策について、他「遠藤孝人」（自民）
  - △県民を「県民」から「市民」へと変える行政改革について、アットコナラの観光施策について、他「佐々木泰江」（県民の声）
  - △教育の質の向上について、県産農産物の輸出促進について、県産物産物の輸出促進について、他「わたなべ拓」（自民）
  - △小児心臓移植について、他「高橋謙一」（自民）
  - △環境影響評価法の諸課題について、再生可能エネルギーの新規について、他「熊谷隆彦」（社）
  - △福島原発汚染処理水について、農業政策について、他「守屋守武」（自民）
  - △宮城県の防災と伝承について、スポーツ振興と部活動の地域移行について、他「佐々木書藏」（自民）
  - △企業への景気対策について、不登校児童生徒対策について、他「へい派名略称」（自民）
  - △自由民主党・県民会議（自民）、みやぎ県民の声（県民の声）、日本共産党宮城県議会議員団（共産）、公明党宮城県議会議員団（公明）、社民フォーラム（無所属の会）、無所属の会（無所属の会）、21世紀無所属（21世紀無所属）

## 予算特別委員会

2月15日及び3月6、7日に総括質疑を行い、その後、各分科会での審査を経て、東日本大震災で被災された方々へのソフト対策や新型コロナウイルス感染症への対応などを目的に編成した令和5年度当初予算、物価高騰への対応などを計上した令和4年度補正予算を可決した。

質疑者については以下を参照願います。 <https://www.pref.miyagi.jp/site/kengikai/shitsumon387.html>

## 大震災復興調査特別委員会

大震災復興調査特別委員会では、3月22日から24日にかけて、被災した沿岸市町や震災伝承施設等、県内8カ所を訪問し調査を行った。沿岸市町からは、現在の復興の進捗状況について説明を受け、市町が

## 常任委員会

今定例会での主な審査議案は次の通り。

- 総務企画委員会  
退職手当基金条例、職員定数条例の一部を改正する条例など14議案
- 環境福祉委員会  
児童福祉施設の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例、就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律施行条例の一部を改正

## 建設企業委員会

道路占用料等条例の一部を改正する条例、建築基準条例の一部を改正する条例など16議案

## 文教警察委員会

博物館法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例、暴力団排除条例の一部を改正する条例など5議案

## 議長記者会見

2月定例会閉会日の3月17日、菊地恵一議長が記者会見を行った。2月定例会を振り返って菊地議長は「今定例会では、県立病院等4病院の統合・合築などの地域医療に関することやコロナ後の社会を見据えた経済対策に関し、多くの議員が取り上げて議論を交わした」と説明。

また「物価高騰への対応や防災・減災に要する経費などを計上した令和4年度補正予算及び被災地の復興完了に向けたきめ細かなサポートや、社会全体で支える宮城の子ども・子育てなどを基本方針とした令和5年度当初予算を可決した」と話した。

さらに「議員提案条例として『宮

## 国に要望する考えはあるか」と質問した。

知事は、昨年度に県内で発生した事例では、発症は豚房や豚舎には限られていたことや、ワクチンを接種した豚は予防効果が発揮されていたことから「国に全頭殺処分の見直しを要望する」と答えた。

「原料がみやぎ米の日本酒の輸出の拡大を図るべきだ」と議員は提言。知事は、昨年11月にイタリアの輸入業者らと連携して商談会を開催したことを説明、「みやぎ米を原料とする銘柄の新規成約が実現した」と成果を披露した。

## 県議会からのお知らせ

- ラウンジコンサート  
◇次回コンサートの開催予定  
・日 時/定例会開会日 6月14日（水）午後0時15分～45分  
・場 所/県議会庁舎1階ラウンジ  
・出 演/五味俊哉さん  
・ジャンル/バイオリンの演奏
- 傍聴のご案内  
傍聴される皆様におかれましては、新型コロナウイルスの感染防止にご配慮くださるようお願いいたします。詳細については、022(211)3571（総務課）までお問い合わせください。

## みやぎ県議会だより 検索

ウェブ版みやぎ県議会だより  
県議会をより身近に感じていただけるよう、写真を多く取り入れた紙面構成としています。

## 宮城県議会 検索

ホームページのご案内  
定例会の日程や会議録、議会中継等をご覧いただけます。

## 宮城県議会中継 検索

議会中継のご案内  
スマートフォンやタブレット端末でも議会中継をご覧いただけます。

## みやぎ県議会だより 検索

ウェブ版みやぎ県議会だより  
県議会をより身近に感じていただけるよう、写真を多く取り入れた紙面構成としています。

## 宮城県議会 検索

ホームページのご案内  
定例会の日程や会議録、議会中継等をご覧いただけます。

## 宮城県議会中継 検索

議会中継のご案内  
スマートフォンやタブレット端末でも議会中継をご覧いただけます。

## みやぎ県議会だより 検索

ウェブ版みやぎ県議会だより  
県議会をより身近に感じていただけるよう、写真を多く取り入れた紙面構成としています。

## 宮城県議会 検索

ホームページのご案内  
定例会の日程や会議録、議会中継等をご覧いただけます。

## 宮城県議会中継 検索

議会中継のご案内  
スマートフォンやタブレット端末でも議会中継をご覧いただけます。

